

<Vol.60の記事>

繰り返しのお願い！ アンケートにご協力ください！
サッカー公認審判の更新手続きが変更されました！ご注意を！
中古サッカー用品集めます！

【アンケートにご協力ください！！】

1月にお願したアンケートについて、まだご回答いただいていない方は、ぜひご提出くださるようお願いいたします。

前年度にお答えいただいた方も、以前と比べてどうであるかなど、ぜひお答えください。

よりよいクラブにするためには、みなさんの意見が大切です。

締め切りを1月20日とお伝えしましたが、2月中旬まで期間を延長しますので、皆様のご協力をお願いいたします！用紙がお手元にはない方は、事務局またはコーチにお話いただければお渡します。

ぜひご回答ください！！

今年度こそ、より多くの会員のみなさんにご回答いただき、もっともっと良いクラブになるための参考資料としたいと思います。

【審判の更新手続きにご注意！】

今年度から、サッカーの公認審判員の手続きが、従来と大きく変更になっています。

資格をお持ちの方はご注意ください！！

登録手続きはできていますか？

昨年までですでに資格をお持ちの方には、すでに審判証と、「JFA 審判登録WEBサイト」についてのご案内が郵送されていたと思います。

パソコンをお持ちの方は、インターネットで日本サッカー協会のホームページにアクセスし、左側のメニューからWEB登録を選択し、登録手続きをすませてください。

審判証が送られてきただけでは、登録されていないのでご注意ください。

更新手続きについて

2006年度の更新登録手続きは、1月10日～3月

25日までの間に、上記と同様にインターネットを使ってJFAホームページから各自で行ってください。

携帯電話のWEBで行う方は、3月10日までです。

インターネットで更新手続きを済ませた後、同様にホームページにおいて「更新講習会の知らせ」を確認していただき、ご都合のよい講習会にご参加ください。

インターネット環境の無い方など

インターネットがご自宅などでは使えない環境にある方は、クラブの事務所で行うことができます。

JFAから送られてきた案内（審判登録番号、初回ログインID、初回パスワードが記載してあります）をご用意の上、事務局までご相談ください。

時間を調整のうえ、登録・更新手続きを事務所で行います。

【新規4級審判講習会 2/26です！】

浦和地区の新規の4級審判員資格取得講習会は以下のとおり開催されます。

月日：2月26日（日）

時間：1時～午後5時

場所：さいたま共済会館

費用：一般 5,500円

コース 3,000円

こちらも、申し込みは、各自でサッカー協会ホームページから行っていただきます。

なお、クラブでは、サッカークラブ会員の審判取得費用について補助を行っています。



活動紹介) サッカー生涯コースの練習

コラム（日経新聞06/1/13より抜粋）

・・・（前略）・・・「元気な中高年」は、特殊例だろうか。興味深いデータがある。2004年の文部科学省の体力調査によると、反復横とびの回数で45～49歳の男女が3年連続、55～59歳の男性が2年連続で過去最高を記録しているのだ。

山梨大学助教授の中村和彦（45）は「現在の40～60歳代は、十代前半までの野外での遊び時間が明治以降で最長だった」と推計する。戦後育ちのこの世代は、家の手伝いなどで時間をとられた戦前世代に比べ、「体全体を使う遊びで筋力を培った」という。将来の高齢者のイメージを変える可能性すら秘める。

「息をはいて、はい、歩いて」。東京の某スポーツクラブでは、かけ声にあわせ、中高年女性がプールの中で歩いたり、跳んだり、40分ほど運動する。

会員の女性は「毎年ひいていた風邪も引かなくなった。血圧の薬を飲むくらいで、病院にはほとんどいかない。」と明るい。

このスポーツクラブの会員構成は10年前には40代以上が27%だったが、今は54%。テニススクールなども「元スポーツマン」の中年男女でにぎわう。

65歳以上の高齢者が占める比率は、04年の19.5%から2025年には28%に上昇する。厚生労働省は、放っておけば25年度の医療給付は現在の2倍の65兆円になると警告してきた。だから保険料の引き上げや患者負担増、増税が必要というのが政府の論理だ。

だが、中高年の「元気度」が正確に反映されているかどうかの検証は難しい。千葉大学教授の広井良典（44）は、「個人の疾病予防への努力が、医療費削減で予想以上の効果を生む可能性もある」と指摘する。

むしろ問題は中高年より子どもかもしれない。「子どもが長生きできない可能性が高まっている」聖路加病院理事長の日野原重明（94）は警鐘を鳴らす。

駆け回る11～12歳の子どもが真正面から来る相手をよけきれずに衝突する。障害物もないのに突然、転ぶ。東京渋谷区の児童教育センター「こどもの城」でこんな光景が増えた。小学生に鬼ごっこを指導する羽崎泰男（56）は、「走る負荷に体が耐えられない子どもが多くなった」と言う。

世の中も物騒になり、こどもだけで外を走り回るとも難しくなった。15年前と比べた9歳代位所の04年の運動能力は、50m走、立幅跳び、ソフトボール投げのいずれでも下がっている。保育園でも「1年3ヶ月を過ぎて歩けない子が2割強いる。30年前では考えられない」（板橋のひいらぎ保育園保育士 水沼裕美子）。体力低下は乳幼児にも及ぶ。

「体力は国力の象徴」。1960年代初頭、米大統領のジョン・F・ケネディは指摘した。生活が便利になり、青少年の体力低下が深刻になったためだ。

それから40年余り、驚くべきものかもしれないニッポンの体力も長い目でみれば安心してはられない。

【サッカー用品集めます】

昨年7月に、NPO法人グローバルスポーツアライアンス（GSA）さんの事業に協力し、中古のサッカー用品をケニアに寄贈させていただきましたが、GSAさんから第2弾のご案内がきました。

「私どもの仲間がアフガニスタンの現地復興支援のために現地入りすることになりました。

日本でサッカーの用具を集めて持っていくことになりました。もし皆様の中で、クラブでもう着なくなったユニフォームがあればぜひ貰い受けたく、お願い申し上げます。

できれば同じデザインのものでいただけると嬉しい限りです。」とのことでした。

これを受け、再度、中古ユニフォームの回収を行うことといたしました。

中古ユニフォームの処分をお考えの方は、各プログラムの現場でコーチにお渡しいただくか、クラブ事務所までお送りください（洗濯済みのものに限りです）。

なお、前回、皆様からお預かりしたスポーツ用品は、ケニアナイロビのSadili Oval Sports Clubと、キスマスのSt.アンドリュー小学校に寄贈されたそうです。

【新中1向け体験練習について】

4月からの新中1生を対象とした、サッカーU-15（ジュニアユース）の体験練習は、以下のとおり行うこととなりました。

日時：毎週火曜日 18時～20時

場所：北浦和小学校

ふだん、ユースが練習をしているところにご参加ください。

なお、北浦和小学校はトレーニングシューズが必要ですので、忘れないようにお願いします。

参加希望者は、事前にクラブ事務局にお名前と連絡先（自宅電話等）及び小学校名、参加希望日をご連絡ください。

【ウラスが懇親会延期します】

前号でお伝えした懇親会ですが、新年度にむけたスタッフの編成や、プログラムの編成などにおいて未確定のところもあるため、延期することといたしました。

新年度にむけた施設等の体制が固まりましたら、あらためてご案内いたします。

余談）

「夢のある街にしか夢のある子どもは育たない。そして、夢のある人にしか夢のある街は創れない」（成岩SCより）。

2006年、大人も、楽しい夢を持ちましょう^^